

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
生成AIとビジネス・知財特論		Z	1 単位	2 学期	ハイフレックス
Generative AI in Business and Intellectual Property					
科目分野		課程領域			
		イノベーションマネジメント共通科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
村上敏也・杉光一成	-	メールアポイントにて随時			

関連している科目(履修推奨科目)

生成AIの活用実務特論 1	生成AIの活用実務特論 2

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

この科目は、生成AIの基礎からビジネス応用、知的財産に関する法的課題までを、専門家によるオムニバス形式で実践的に幅広く学ぶことを目的としています。講義では、まず生成AIの基本概念、歴史、技術的背景、代表的なツールの仕組みと使い方の基礎を確認し、職種別・業種別のインパクト、具体的な活用事例を通して、ビジネスにおける応用を理解していきます。くわえて、発明、著作物、商標、意匠に関する法的課題とリスク管理など、法的側面からの生成AI活用を検討します。また、コンテンツ制作などでの生成AIの役割、業務上の利用では欠くことができないAI倫理や企業責任としてのデータ管理などを議論します。最後に、企業での導入事例とその成果、課題、成功指標を分析し、自社での応用を考察します。本科目では、各分野の専門家や実務経験豊富なゲスト講師を招き、講義と実践的な演習を通して、生成AIのビジネス活用を深めます。

到達(修得)目標

この科目を通して、受講者は、生成AIの基礎知識、ビジネス応用、知的財産に関する法的課題、倫理的な問題を理解し、具体的な活用方法やリスク管理を学び、ビジネスイノベーションを推進できるようになることを目指します。また、実務経験者の事例から実践的なビジネスアイデアを考察し、自社での応用につなげることを目指します。

受講対象者

生成AIのビジネス活用に関心があり、生成AIの基礎から応用、法的な側面まで幅広く学びたいビジネスパーソン全般。

履修上の注意事項やアドバイス

2コマ連続で、全4回のセッションです。各セッションの履修後に、学びを振り返るためのレポート提出が求められます。レポートは全4回の提出が必須です。成績は、基本的に、各セッション後に提出されるレポートに基づいて評価されます。

※ 本科目は、隔週クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	専門家による講義・質疑応答・討議	質疑・討議による能動的学び	講義資料・レジュメ等
2	専門家によるオムニバス形式の講義	多様な視点と実践知識の学び	講義資料・レジュメ等
3	学びの振り返りレポート	主体的・能動的な学び	レポート
4			
5			
6			
7			
8			

評価の方法		
(総合評価項目と割合)	評価の要点	
セッション毎の学びのレポート	100%	2コマ連続、全4回のセッションについて、各セッション履修後に学びを振り返るためのレポートが課されます。レポートの内容について、深い学びや気づきにつながっているか、実務での実践や応用につながっているか、講義外でのさらなる知識探索や獲得につながっているか、などの観点から評価します。
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	-	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	中崎 尚 (2024) 「生成AI法務・ガバナンス」商事法務, ISBN10: 4785730706	
参考URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1	生成AIの基礎: 生成AIの基本概念や歴史的/技術的背景に加え、代表的なツールを紹介し、生成AIの応用可能性を考える基礎を学ぶ。	Gemini, Copilot, ChatGPTで生成AIの自社活用を調査	村上・杉光	180分
	イベント	野田晴義KIT客員教授:3学期「生成AIの活用実務特論1」担当		
2	ビジネス応用の現状/未来と社会的インパクト: 生成AIのビジネス応用の全体像を示し、その社会的インパクトを、職種別や業種別に議論する。	事後課題: セッション1(コマ1,2)の振り返りレポート	村上・杉光	180分
	イベント	田中誠人氏: 株式会社大和総研デジタルソリューション研究開発部		
3	発明分野での生成AIの応用とビジネスチャンス: 発明支援における生成AIの役割、特許戦略、新しい技術開発の加速化などについて議論する。	必要に応じ適宜指定	村上・杉光	180分
	イベント	西田泰士氏: Axeliidea株式会社 (アクセリディア)代表取締役・弁理士		
4	クリエイティブ分野での生成AIの応用: 生成AIがクリエイティブプロセスに与える影響や可能性などについて議論する。	事後課題: セッション2(コマ3,4)の振り返りレポート	村上・杉光	180分
	イベント	大橋卓生KIT教授(弁護士)、石井大貴KIT准教授		
5	生成AIと知的財産: 法的課題とリスク管理: 生成AIにおける法的保護の課題やリスク、および具体的な対策などについて議論する。	必要に応じ適宜指定	村上・杉光	180分
	イベント	中崎尚弁護士: アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業スペシャルカウンセ		
6	データの倫理とプライバシー保護: プライバシー、バイアスなど、生成AIが引き起こす可能性のある倫理的リスクと対応策について議論する。	事後課題: セッション3(コマ5,6)の振り返りレポート	村上・杉光	180分
	イベント	中崎尚弁護士: アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業スペシャルカウンセ		
7	生成AIのビジネス実例と成功/失敗分析: 生成AIを実務に展開した成功事例、失敗事例から成功要因やリスク、展開に必要なスキルなどを学ぶ。	必要に応じ適宜指定	村上・杉光	180分
	イベント	西本匠氏: 株式会社CREX(メタバース総研・AI総研運営)代表取締役		
8	生成AIの実務導入事例紹介、後続科目紹介: 生成AI導入による変革の狙いや課題を共有し、実践的な活用アイデア創出について考察する。	事後課題: セッション4(コマ7,8)の振り返りレポート	村上・杉光	180分
	イベント	槌野浩KIT客員教授: 4学期「生成AIの活用実務特論2」担当		

- ※ 講義日程は、学事ポータル内の講義日程表をご参照ください。
- ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
- ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。